

2021年5月16日(日) NPO 法人神奈川県歩け歩け協会

主管:横浜歩け歩け運動連合会

◎神奈川の鉄道シリーズ(東京急行) 西区

東横線から横浜の出島関内へ

東横線跡地沿い SL 気分で桜木町駅へ。そして横浜の出島を歩く。(マスク着用) **8キロ**

【集合】午前9時 横浜駅東口そごう2階鐘の広場
(横浜駅東口 5分)

【コース】～高島町～桜木町駅～福富町西公園～開港資料館～
山下公園～石川町駅

【解散】午後0時30分頃 石川町駅(JR 根岸線)



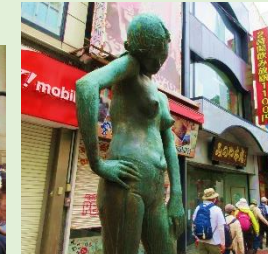
今だにできない
東横線跡地遊歩道



閑散とした野毛小路



初代横浜駅ジオラマ



“まん延防止重点措置”が5月31日まで延長されたが、協会は引き続き例会を継続するそうである。9時にそごう2階鐘の広場の鐘が派手に鳴り朝礼スタートする。本日の参加者 99名+13名。「関内」という地名は「(江戸幕府が決めた)関所に囲まれた“内側”の場所的理由」と関所の内側だから「関内」という理由でつけられた。約150年前、徳川(江戸)幕府が日米和親条約をアメリカと結び、神奈川の港(今の関内あたり)が外国に対して開かれた。幕府は元町と外国人居留地の間に中村川を延伸した掘割をつくり「堀川」とし、完全に出島状態にした。現在はその首都高速横羽線が通っている。吉田橋はまさしく関所であった。条約締結した開港資料館には出島の資料が展示してある。マンハッタンのような遊歩道を作ると豪語した横浜市は、予算がないという理由で今だに整備されていない。本来なら横浜から歩いて来るはずだった。トライアスロンの大会が行われていたため、湾岸通りは目立つので裏通りを歩く。雨が降ってきたため、元町入口で解散式を行い流れ解散になる。

横浜歩連 春